

諸法実相



諸法実相

永観堂法主 玄禮



青カビから

抗生物質の ペニシリンが出来ます

あのフグ毒でさえ

使いようによつては 薬になります

あんなモノが あんなヤツがと

思つていても

実はとても

役立つ存在であり得ます

すべてのものは すべてを

成り立たせるために

あるがまま あるのです

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県名古屋市中区在住伊藤待子様に進呈します。
ご希望の方は八ガキで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

知恵あるもの

に怒りなし

『善生経』



有智
無畏

永観堂法主玄禮



釈尊には、こんな逸話が伝えられています。

ある者が、釈尊の前でさんざん悪口を言いました。

釈尊は黙って聞き続けた後で「もし贈り物をしようとして、その相手がうけとらなかった時は、その贈り物は誰のものになるうか。私への悪口は、私が受け取らなかつたら、その悪口は言ったことにはならない」と話しました。

その人は「釈尊は何を言われても、腹が立ったりしないのですか」と聞き返します。すると釈尊は「悪口に対し悪口で、怒りに対して怒りで、戦いに対して戦いで答えるのは、愚か者のすることだ」と、涼しげに説かれましたと。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮様下のご染筆です。前々号の色紙は、三重県三重郡在住諸岡久美子様に進呈します。ご希望の方は八ガキで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

不
瞋
恚



この世には三種の人があると云います。岩に刻んだ文字のような人、砂に書いた文字のような人、水に書いた文字のような人です。

岩に刻んだ文字のような人とは、立腹してしまい、怒りが、岩に刻み込んだ文字のように、怒り続けて消えることのない人です。

砂に書いた文字のような人とは、立腹しても、その怒りが、砂に書いた文字のように、いつしか消え去る人です。

水に書いた文字のような人とは、水面に文字を書いても形にはならないように、不快な言葉を聞いたとしても、心に残ることなく、温和な思いが満ちている人のこと云います。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県たつの市在住小林和生様に進呈します。ご希望の方は八ガキまで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

老いの三失



光寿
無量

永観堂法主

玄禮



「年をとるということは、寂しくなること
なんやで」、祖母がポツリと言ったことを思
い出します。

人が老いると三つのものをなくします。

一つは「体力」、二つは「仕事」、三つは「連
れ合い」。

うしななって初めて気づくのです。元気が
あって、友人・伴侶に恵まれていたのは、
すべて自分の努力の結果だとおこつていな
かったか。自分の力をなくして、はじめて、
縁のはからいに気づかされます。

老いるということは、私の命が仏様の命
に帰って行くこと。命の深さが見えてくる
ということなのです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、富山県氷見市在住伊藤ルミ様に進呈します。
ご希望の方は八方まで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

『ああ短いかな、人の命よ、
百歳に達せずして死ぬ』

スッタニパータ



「おばあちゃん、百歳まで長生きして
ね」「わたしや、もう九十九や」という笑
い話があります。

生老病死を四苦というけれども、なか
な我が身のこととして捉えることは難し
いようです。

若ければ、年老いることを嫌う。

年老いても、自分は健康であると病を嫌う。
病に伏せても、まだ命があると死を嫌う。

私には「若さ」「健康」「生命」がある
とおごっているうちに、いつか追いつかれ
て、すべてをなくしてしまう。

なくなってしまうようなものにとらわれ
ず、苦と向き合うことこそ、大事なな
です。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県姫路市在住熊野幸男様に進呈します。
ご希望の方は八ガ玉で住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選一名に進呈。

不請の友



『無量寿経』に「もろもろの庶類のために不請の友となる」とある。

仏様は、こちらから求めなくても、溜息ばかりの私達の心を察して働きかけてくださるから、それが「不請の友」。

震災で家族を亡くしたある生徒へ先生が卒業の想いを込めて「不請の友」と書き、横に自分の名前を添えられた。自分のことを見守っている方があるという言葉は、彼の人生の大きな支えになった。

自分に注がれている眼差しや働きかけがある。そこに気づくことができるのであれば、やりきれない人生も、それまでとは違った見え方がしてくるのではないか。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、京都府京都市在住朝日敬子様に進呈します。ご希望の方は八ガキで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

善因楽果



あなたの存在は けして 偶然ではない

そして

あなたの来し方 これから行く末も

あなたが為したこと これから為すことが

因となり縁となり

必然として あなたを決定づける

仮に今

あなたが不調で 不安があるとしても

陰あれば陽あり

それは陽へ転ずる 平安の兆し

善きことを思い

善きことを 刻々為すがよい

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猥下のご染筆です。前々号の色紙は、京都府京都市在住林雅子様に進呈します。ご希望の方は、八力キで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し名に進呈。

南無阿弥陀仏

母の口ぐせは、「いまが、一番しあわせ」



好日是好日

永観堂法主 玄禮



人生をふりかえると、いろいろな場面で、しあわせを感じた時があります。志望校に合格したとき、成人したとき、愛する人と出会ったとき、結婚したとき、出産したときなど。

そんな思い出さえも、しあわせを感じさせてくれます。

でも、悩んだり迷ったり、人生につまづいたりするときも、かならずやってきます。母も、何度も悲しい場面に遭遇をしています。

そんなときも「いまが、一番しあわせ」と、話してくれる姿に、生きる力をもらっています。

その言葉を話せるのは、揺るがないしあわせを見つけているからなのでしょう。この揺るがない根っ子、それがお念仏です。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮宛下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県みよし市在住宮澤八代様に進呈します。ご希望の方は八ガキで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

布施



布施は、仏教徒にとって、最も重要な実践目でありますが、『俱舍論』には、不純な七つの布施が説かれています。

断り切れずに仕方なくする布施

義理でする布施

恩返しのためにする布施

返礼を期待してする布施

習慣に基づいてする布施

来世に天界に生まれることを願ってする布施

名声を高めるためにする布施。

本来、布施は清浄なもの。施す者も施された者も、共に清々しい気持ちになる行い
です。

絵本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮宛下のご染筆です。前々号の色紙は、京都府八幡市在住大西貞安様に進呈します。ご希望の方は八カまで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

一念発起



『無量寿経』に、「乃至十念」や「乃至一念」とあります。この十念や一念は、もともと十回や一回を起こすだけでも、という発起の意味でしたが、いまはお念仏のことをいっています。

阿弥陀仏の願い（本願）は、われわれ衆生に救済の手だてを差し伸べることです。この弥陀の他力本願によって信じる心が起るのです。

佛に帰依する一念を起こして、悟りに向くように、信じる心を起こすということです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮宛下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県姫路市在住北村哲哉様に進呈します。ご希望の方は八方まで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

念仏為先

法然上人



念仏為先

永観堂法主 玄禮



ある人が法然上人に、「睡魔に襲われて、念仏することができません。どうすればよいのか」と問われた。

すると、法然上人は、「目が覚めている時に、念仏をしなさい」と答えられたという。

また、「疑う気持ちがありながらも、念仏を唱えていれば極楽往生することができる」とも。

このことについて、兼好法師は『徒然草』で、「とても尊いことである」と述べられている。

仏道は、けして難しいものではない。

こだわりは捨て、弥陀の大悲おんあはれに委ねずがよい。

絵本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご梁筆です。前々号の色紙は、愛知県みよし市在住小野田久美子様に進呈します。ご希望の方は八方まで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

不過三毒

為禪悦
為食

総本山永観堂法主 玄禮



食前の「いただきます」は
この食事が調うまでの
幾多の手間隙を思い

さらには

食材の命にまで

心気遣う 懺悔と感謝の言葉

おのれの

貪りや怒りや愚かさで

頂戴賜った食材の命を

再び殺すなかれ

その命を生かし

わが命も生かす

良業と心得べし

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮院下のご染筆です。前々号の色紙は、岐阜県岐阜市在住高井敏夫様に進呈します。
ご希望の方は八方まで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。